

工事番号											(様式 - 1)
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------

村長		課長		係長		係		審査者		設計者					
----	--	----	--	----	--	---	--	-----	--	-----	--	--	--	--	--

令和 7 年度	北殿地区下水道管渠工事	閲覧設計書
---------	-------------	-------

南箕輪村 北殿

設 計 大 要	施 工 方 法
管渠工 150VU L = 18.00m 小型マンホール設置工 1箇所 汚水ます及び取付管設置工 1箇所	施 工 期 間
	起工予定年月日
	竣工予定年月日
	契約保証方法
	<ul style="list-style-type: none"> ・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、L、%、日、時、工数、空m³、掛m²、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合は除きます。

総括情報表

適用単価地区 実施設計単価表等の適用日	43 4 伊那(1) 07.06.01		
	当 世 代	前 世 代	
	これらの諸経費等の条件については、原則変更協議の対象とはなりませんのでご理解願います。		

*** 本工事費 ***

(工事費内訳書)

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
*** 本工事費 ***										
管路										
管きょ工(開削)					式					
	1				式					工種 第0001号表
マンホール工										
	1				式					工種 第0002号表
取付管およびます工										
	1				式					工種 第0003号表
付帯工										
	1				式					工種 第0004号表
** 直接工事費 **										
運搬費										
仮設材等の運搬 製品長 1.2 m以内 運搬距離 3 km (×往復)	8.3				t					

*** 本工事費 ***

(工事費内訳書)

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 現場環境改善費 (率分) **						
*** 共通仮設費率計算額 **						
*** 共通仮設費計 **						
*** 純工事費 **						
*** 現場管理費 **						
*** 工事原価 **						
* 一般管理費等 *						
*** 工事価格計 **						
*** 消費税等相当額計 **						

*** 本工事費 ***

(工事費内訳書)

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 工事費計 ***						
(参考) 予定 価格に占める 法定福利費概 算額						

工種明細表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路土工					
		式			
管路掘削					
		m ³			
機械掘削工					
	32	m ³			
管路埋戻					
		m ³			
機械投入埋戻工 BH山積0.28m ³ （平積0.2） 発生土					
	17	m ³			
機械投入埋戻工 BH山積0.28m ³ （平積0.2） 良質土					
	3.1	m ³			
発生土処理					
		m ³			
発生土運搬工 運搬距離 3 km					
	5.5	m ³			
管布設工					
		式			

工種明細表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
硬質塩化ビニル管					
		m			
硬質塩化ビニル管設置工					
	18	m			
硬質塩化ビニル管・ゴム輪受口 径150mm 厚7.5mm 長4.0m					
	4.4	本			
埋設標識テープ					
		m			
埋設シート 幅150 シングル					
	19	m			
管基礎工					
		式			
砂基礎					
		m			
砂基礎工					
	5.3	m ³			
洗滌砂					
	6.4	m ³			

工種明細表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路土留工					
		式			
たて込み簡易土留					
		m			
たて込み簡易土留（建込工） 加ラ型 山積0.28m3（平積0.2m3）					
	18	m			
たて込み簡易土留（引抜工）					
	18	m			
たて込み簡易土留機材賃料 供用日数分					
	1	式			
たて込み簡易土留機材賃料 修理費及び損耗費分					
	1	式			
*** 単位当り ***					
	1	式			

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
組立マンホール工					
		式			
組立1号マンホール					
		箇所			
削孔 1号 150 VU管用	1	箇所			
底部工(組立式) インバートのみ有り	1	箇所			施工 第0 -0001号表
継手類					
		箇所			
ゴム製可とうマンホール継手 150VU	1	個			
小型マンホール工					
		式			
小型マンホール					
		箇所			
小型マンホール工(塩化ビニル製) 径300mm マルチタイプ使用 2m超150mmおよび200mm	1	箇所			

工種明細表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
マルチインバート用自在支管 150VU	1	個			
*** 単位当り ***	1	式			

工種明細表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路土工					
		式			
管路掘削					
		m ³			
機械掘削工					
	4.9	m ³			
管路埋戻					
		m ³			
機械投入埋戻工 BH山積0.28m ³ (平積0.2) 発生土					
	2.7	m ³			
機械投入埋戻工 BH山積0.28m ³ (平積0.2) 良質土					
	0.5	m ³			
砂基礎工					
	0.8	m ³			
洗滌砂					
	1.0	m ³			
発生土処理					
		m ³			

工種明細表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土運搬工 運搬距離 3 km					
	1.7	m ³			
ます設置工					
		式			
ます					
		箇所			
ます設置工 (塩化ビニル製) ます (径 200) 横型 150 - 150 - 200 鋳鉄製蓋使用	1	箇所			
取付管布設工					
		式			
取付管					
		箇所			
取付管布設工 管径 150 以下 管種 VU	3.1	m			施工 第0 -0002号表
硬質塩化ビニール管・ゴム輪受口 径 150 mm 厚 7.5 mm 長 4.0 m	1	本			
管路土留工					
		式			

工種明細表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
たて込み簡易土留					
		m			
たて込み簡易土留(建込工) 加ラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	2.6	m			
たて込み簡易土留(引抜工)	2.6	m			
たて込み簡易土留機材賃料 供用日数分	1	式			
たて込み簡易土留機材賃料 修理費及び損耗費分	1	式			
*** 単位当り ***	1	式			

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装撤去工					
		式			
舗装版切断					
		m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	4.4	m			
舗装版破碎					
		m ²			
舗装版破碎積込					
	40	m ²			
殻運搬処理					
		m ³			
殻運搬 舗装版破碎 DID区間なし 7.0km以下 機械積込(小規模土工)	2.0	m ³			
処分費等					
処分費					
	4.6	t			

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装復旧工(種別毎)					
		式			
下層路盤					
		m ²			
下層路盤 RC-40					
	4.3	m ³			
上層路盤					
		m ²			
上層路盤 全仕上り厚100mm 1層施工					
	17	m ²			
表層					
		m ²			
表層 1.4m以上3.0m以下 平均仕上り厚50mm					
	40	m ²			
区画線工					
		式			
ペイント式区画線					
		m			

工種明細表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
区画線設置 ペイント式(車載式) 実線 15cm	18	m			
カラー滑防塗装 緑 100㎡未満	3.1	㎡			
*** 単位当り ***	1	式			

南 箕 輪 村
公 共 下 水 道 事 業 管 渠 工 事
上 伊 那 郡 南 箕 輪 村 北 殿

管渠番号 M902-1

数 量 計 算 書

令 和 7 年 度

南 箕 輪 村 役 場

管布設工・仮設工数量集計表

工種	名 称	規 格	単 位	数 量	適 用	
管 布 設 工	区 間 距 離	Φ150VU	m	18.0		
		Φ150PRP	m			
	管 布 設 延 長	Φ150VU	m	17.4		
		Φ150PRP	m			
	直 管 延 長	Φ150VU	m	17.4	17.4 ÷ 4 = 4.4 本	
		Φ150PRP	m			
	マンホール 継手	副管可とう支管	φ150×φ100	箇所		
		可とう性継手	Φ150VU	箇所		
			Φ150PRP	箇所		
	表示シート 明示テープ		W=150	m	18.8	(村道) 17.32 + 1.50 = 18.82
W=400			m			
仮 設 工	建て込み 簡易土留め工	φ150VU			(平均H)	
			H=2.0m	m		
			H=2.5m	m	18.00	(2.01)
			H=3.0m	m		
			H=3.5m	m		
			H=4.0m	m		
			H=4.5m	m		
			H=5.0m	m		
			H=5.5m	m		
			H=6.0m	m		
	φ150PRP	H=2.0m	m			
		H=2.5m	m			
		H=3.0m	m			
		H=3.5m	m			
		H=4.0m	m			
		H=4.5m	m			
		H=5.0m	m			
		H=5.5m	m			
	運 搬 費		t	8.3	12.0*(18.00+2.65)/30.0 = 8.26 (t)	
	水 替 工		現場			
付 帯 工	試掘		m3			
	プレキャストボックスカルバート (D1500-H1000)		m			
	均しコンクリート (捨-8-40N)		m3			
	区画線 外側線	W=0.15	m	18.0		

組立1号マンホール工数量集計表

工種	名 称	規 格	単 位	数 量	
組 立 1 号 マ ン ホ ー ル 設 置 工	組立1号マンホール設置工		箇所		
	マンホール蓋	車道用	T-14	組	
		車道用	T-25	組	
		歩道用		組	
	調整金具	H= 2.5mm		個	
		H= 4.5mm		個	
	調整リング	H= 5.0mm		個	
		H= 10.0mm		個	
		H= 15.0mm		個	
	斜壁ブロック	H= 300mm		個	
		H= 450mm		個	
		H= 600mm		個	
	直壁ブロック	H= 300mm		個	
		H= 600mm		個	
		H= 900mm		個	
		H= 1200mm		個	
H= 1500mm			個		
躯体ブロック	H= 1800mm		個		
	H= 300mm		個		
	H= 600mm		個		
	H= 900mm		個		
	H= 1200mm		個		
	H= 1500mm		個		
底版ブロック	H= 130mm		個		
削孔数	φ200 VU		箇所		
	φ150 VU		箇所	1	
	φ100 VU		箇所		
底部工	インバート有り		箇所		
	インバート無し		箇所		
	インバートのみ有り		箇所	1	
ブロック据付	H= 1.2~3.0m		箇所		
	H= 3.0m~		箇所		

塩ビ製小口径マンホール工集計表

名 称	規 格	数 量
鉄 蓋	φ 300受枠共重車両用台付	1
内 蓋		1
	300	
塩ビ製マンホール	φ 150-300 15L 右	
	15L 左	
	30L 右	
	30L 左	
	45L 右	
	45L 左	
	60L 右	
	60L 左	
	75L 右	
	75L 左	
	90L 右	
	90L 左	
	45Y 右	
	45Y 左	
	W45L マルチ 2.1	1
塩ビ製マンホール (ドロップ)	φ 150-300 DR	
	落差管 0.5	
	落差管 1.8	
塩ビ製マンホール (曲管)	φ 200×90° ST	
	自在 45°	
	60°	
	75°	
塩ビ製マンホール (立管)	1.0	
	1.2	
	1.5	
	1.7	
	2	
	2.1	
塩ビ製マンホール (自在立管)	1	
	1.2	
	1.5	
	1.7	
	2	
	2.1	
本管自在	φ 150 φ 200	1
取付自在支管	φ 150 φ 100	1
RP-VU変換継手	φ 150 φ 200	
排水キャップ	φ 150 φ 200	
異径ソケット	φ 150×φ 100	
	φ 200×φ 150	

取付管工数量集計表

工種	規格	単位	(村道G 下層路盤工 無) 標準型		1.0箇所当り		集計		1.0箇所当り		集計		合計	
			1.0箇所当り	集計 全箇所数 1箇所	1.0箇所当り	集計 全箇所数 箇所	1.0箇所当り	集計 全箇所数 箇所	1.0箇所当り	集計 全箇所数 箇所				
土	機械掘削	m ³	4.91										4.91	
	床均し	m ²	-		-	-	-	-	-	-	-	-		
	機械埋戻し	(発生土)	m ³	2.72										2.72
		(良質土)	m ³	0.48										0.48
		(砂基礎)	m ³	0.81										0.81
残土処理	(碎石 RC-40-0)	m ³	0.24										0.24	
	残土処理	m ³	1.89										1.89	
舗装	舗装切断	As t=10cm以下	m											
		Co t=15cm	m											
	舗装取壊	As t=10cm以下	m ³											
		粗粒度As t=3cm	m ²											
	表層工	密粒度As 20F t=5cm	m ²											
		M-25 t=10cm	m ²	0.95										0.95
	下層路盤工	RC-40 t=25cm	m ²	0.24										0.24
		M-25 t=18cm	m ²	0.95										0.95
区画線	白実線 w=15cm	m												
管	片受直管	φ100	m											
		φ150	m	3.10									3.10	
材	可とう支管	φ100	個	(人取)		(人取)		(人取)		(人取)				
		φ150	個											
	マホール継手	φ100	個											
		φ150	個											
	自在曲管	φ100	個											
		φ150	個											
30°曲管	φ100	個												
	φ150	個												
鉄筋CON支管	φ100	個												
	φ150	個												
仮設	表示シート	m	1.50										1.50	
	土留め工	建込簡易土留	m	2.65									2.65	

汚水樹設置取付管工 1箇所 箇所
 汚水樹標準型 1箇所 箇所
 当初 変更

標準型H= 0.8 ----	箇所	箇所
標準型H= 0.9 ----	箇所	箇所
標準型H= 1.0 ----	箇所	箇所
標準型H= 1.1 ----	箇所	箇所
標準型H= 1.2 ----	箇所	箇所
標準型H= 1.3 ----	箇所	箇所
標準型H= 1.5 ----	箇所	箇所
標準型H= 2.0 ----	1箇所	箇所
計	1箇所	箇所
洗滌砂 ΣH	2.0 m(延長)	m(延長)
φ200PE直管		
L=延長-0.337 * 箇所数	1.7 m	m
汚水樹底部有孔型	箇所	箇所

砕石抜 1.65
 当初 変更

底孔型H= 0.9 ----	箇所	箇所
底孔型H= 1.0 ----	箇所	箇所
底孔型H= 1.1 ----	箇所	箇所
底孔型H= 1.5 ----	箇所	箇所
計	箇所	箇所
ΣH	m(延長)	m(延長)
φ200PE直管		
L=延長-0.337 * 箇所数	m	m
φ150PE直管		
Σ(H'-H)	m(延長)	m(延長)
L=延長-0.275 * 箇所数	m	m
90°曲管φ150	個	個

中間樹設置取付管工 箇所 箇所
 中間樹標準型 箇所 箇所
 当初 変更

H=0.8 (ST)	箇所	箇所
H=0.8 (45L)	箇所	箇所
H=1.0 (30L)	箇所	箇所
H=1.0 (90WYS)	箇所	箇所
計	箇所	箇所
ΣH	m(延長)	m(延長)
φ200PE直管		
L=延長-0.337 * 箇所数	m	m
自在継手	個	個

直管合計
 * φ200PE直管 1.7 m m
 * φ150PE直管 m m
 * φ100PE直管 m m
 * 取付管用片受直管φ100 本 本
 * 取付管用片受直管φ150 0.78 本 本
 * 支管取付工 箇所 箇所

塩ビ製蓋設置 箇所
 鉄蓋設置 1箇所

管渠土工計算書(1)

(C150 VU)

舗装種別	管渠番号	工種	人番号	孔号	管路延長	管渠減長	管渠延長	基礎減長	基礎延長	土被り		平均土被	管外径	基礎厚	掘削深	掘削幅	埋戻し工									平均舗装幅	舗装取壊工	舗装切断工									
										発生碎石量	掘削土量						機械転圧																				
																	砂基礎			碎石基礎			良質土(発生土)						発生土(修正CBR20以上)			再生碎石(RC40-0)			良質土		
																	0.20	0.35	0.60	0.20	0.35	0.60	0.20	0.35	0.60				0.20	0.35	0.60	0.20	0.35	0.60	0.20	0.35	0.60
村道	表層厚t1 路盤工t2 路盤工t3	0.05 0.10 0.25			m	m	m	m	m(S)	m	m	m(F)	m	m	m(L)	m	A*J*厚さ (0.35-0.10)	m ³ (K)	(J*(G+H+0.1) -G ² *π/4)*S	m ³ (L)	m ³	m ³ (P)	A*J*(1-t1-t2-t3-G-H-0.3)	m ³	m ³	A*J*(1-0.814-1.2)	Q m	A*J(Q) *t1	A*(U) *t1	m	m	(U)					
村AS	M902-1	0.20	M902	M902-1	18.00	0.60	17.40	0.68	17.32	1.59	1.89	1.74	0.165	0.10	2.01	0.90	4.1	31.8	5.3				3.1			16.9			4.1			2.20	2.0	18.0	×1		
合計					18.00	0.60	17.40	0.68	17.32	1.59	1.89	1.74	0.17	0.10	2.01	0.90	4.1	31.8	5.3				3.1			16.9			4.1			2.20	2.0	18.0			

取付管数量計算書(1箇所当り)

掘削種別(0.20)	当初	変更
1. 汚水桝平均桝深 (H) 別紙計算書より	$H \leq 1.40$	$H \leq 1.40$
	2.00	
2. 汚水桝平均掘削深 (H1) $H+0.10$	2.10	
3. 下流掘削深 (H2) 土被り+0.165+0.100	2.11	
4. 取付管平均掘削深 (A) $(H1+H2) \times 1/2$	2.11	
5. 取付管平均掘削幅 (B) $(W2+W7) \times 1/2$	0.90	
6. 平均道路幅員		
7. 取付管延長 (C)	3.10	
8. 本管掘削幅 (W)	0.90	

土工計算

a. 掘削土量 $((A)-0.05) \times (B) \times (C-W/2)$	4.91
b. 砂基礎 $\{(W8) \times 0.365 - \phi 150\} \times (C-W/2)$	0.81
c. 良質土埋戻 $(W5+W6)/2 \times 0.2 \times (C-W/2)$	0.48
d. 碎石埋戻	
e. 残土処理 $a-f \times 1/0.9$	1.89
f. 発生土埋戻 $(W4+W5)/2 \times h1 \times (C-W/2)$	2.72
g. 床均し $(W6) \times (C-W/2)$	
h. 土留工 $(C-W/2)$	2.65
(発生碎石量) 幅*長さ*厚 $0.900 * 1.05 * 0.25$	0.24

舗装種別 (村道G 下層路盤工 無)

材料	単位	数量
片受直管 C	m	3.10
可とう支管	個	
自在曲管	個	
30° 曲管	個	
表示テープ C-1.60	m	1.50
マンホール継手		

※ 砂基礎平均幅 (W8)

$$H < 1.40 (0.900 + 0.900) \times 1/2 = 0.900$$

※ 碎石埋戻平均幅 (W9)

$$H < 1.40 (\quad + \quad) \times 1/2 =$$

$$\therefore \phi 150 \text{VU (控除断面)} \quad 0.165^2 \times \pi / 4 = \quad 0.021$$

舗装復旧工

表層工：管渠土工計算書に計上

上層路盤工：(路盤工延長)×箇所×(W2+W3)×1/2

$$A2 = (0.75 + 0.30) \times 1 \times (0.900 + 0.900) \times 1/2 = 0.95 \text{ (m}^2\text{)}$$

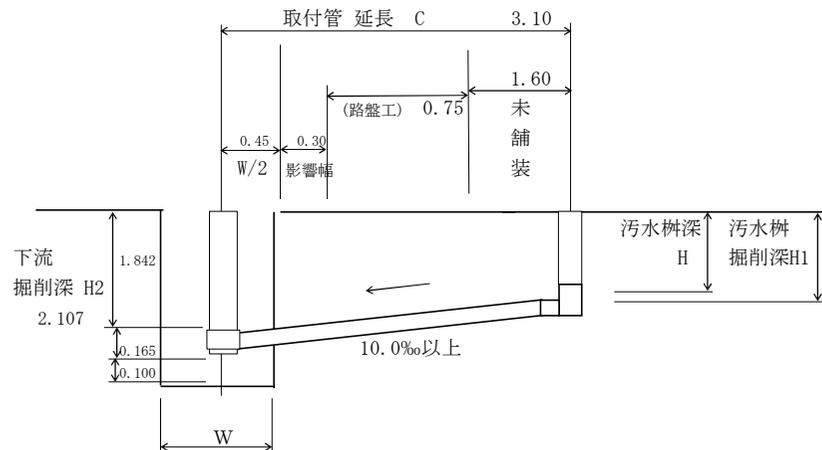
下層路盤工(面積)：(路盤工延長)×箇所×(W3+W4)×1/2

$$A3 = (0.75 + 0.30) \times 1 \times (0.900 + 0.900) \times 1/2 = 0.95 \text{ (m}^2\text{)}$$

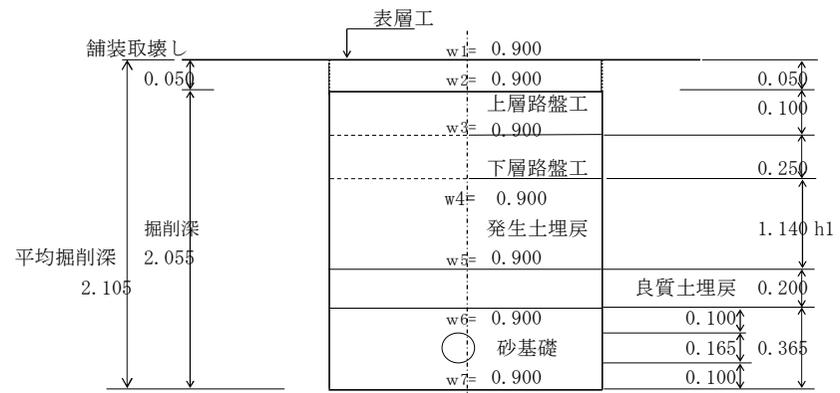
下層路盤工(体積)：(路盤工延長)×箇所×(W3+W4)×1/2×0.25

$$A3 = (0.75 + 0.30) \times 1 \times (0.900 + 0.900) \times 1/2 \times 0.25 = 0.24 \text{ (m}^3\text{)}$$

取付管標準図



横断面図



建込み簡易土留供用日数計算書

(砂、砂質土、粘性土、礫質土共通)

1、設計条件

(機材深さ H= 2.16 m最大掘削深)

1) 土工

① 掘削深 = 2.01 m(平均掘削深) ② 掘削幅 = 0.90 m ③ 施工延長 = 19.40 m

④ 掘削使用機械= バックホウ0.2m3

⑤ 予掘深 = 1.00 m

2) 管布設工

① VU管 150 mm ② 管外径 0.165 m

3) 基礎工

① 砂基礎工 (基礎管下厚= 0.10 m、基礎管上厚= 0.10 m)

$$\begin{aligned} \text{基礎工数量} &= 0.90 \times (0.10 + 0.10 + 0.165) - 0.165^2 \times 1/4 \times \pi \\ &= 0.307 \text{ m}^3/\text{m} \end{aligned}$$

上記条件より30.0m当たり供用日数を算出する。

2、施工時間

1) 掘削時間(D1)

○ バックホウ0.2m3 の1.0日当たり掘削作業量 = 43.0 m3 (歩掛P5)

○ 掘削量 = (2.01 - 1) × 0.90 × 30.00 = 27.3 m3

◎ 掘削工施工日数(D1) = 27.3 ÷ 43.0 = 0.63 日

2) 建込み簡易土留建込み時間(D2)

注: 建込み簡易土留建込み時間の施工源単位は『世話役』を用いる。(採用掘削深さ歩掛 2.16 m 以下)

○ 10.0m当たり世話役労力(掘削深さ 2.16 m以下) = 0.25 人 (歩掛P18の歩掛表参照)

◎ 建込み工施工日数(D2) = (0.25 ÷ 10) × 30 = 0.75 日

3) 基礎工(D3)

注: 基礎工施工日数の施工源単位は『タンパ』を用いるものとし、歩掛P7よりタンパ1.0日当たり施工量=36m3/日とする。

○ 基礎工施工日数 = 0.307 × 30 = 9.2 m3

◎ 基礎工施工日数(D3) = 9.2 ÷ 36 = 0.26 日 (歩掛P7機械運転単価表参照)

4) 管布設工(D4) (呼び径 150 mm)

注: 管布設工施工日数の施工源単位は『世話役』を用いる。(採用管布設歩掛 0.021 人/m)

◎ 管布設工施工歩掛(D4) = 0.021 × 30 = 0.63 日 (歩掛P27管布設歩掛表参照)

5) 引抜き埋戻し工(D5)

注: 引抜き埋戻し工施工日数の施工源単位は『タンパ』を用いるものとし、歩掛P7よりタンパ1.0日当たり施工量=36m3/日とする。

○ 埋戻し土量 = (2.01 - 1 - (0.10 + 0.10 + 0.165)) × 0.90 × 30 m
= 17.4 m3

◎ 引抜き埋戻し工施工日数(D5) = 17.4 ÷ 36 = 0.48 日

3、施工日数

○ 30.0m当たり施工日数(D1+D2) * 3/5 + D3 + D4 * 3/5 + D5

= (0.63 + 0.75) × 3/5 + 0.26 + 0.63 × 3/5 + 0.48

= 1.9 日

◎ 施工延長当たり供用日数 (施工延長L= 19.40 m)

計上日数 = 1.9 ÷ 30 × 19.40 × 1.3 = 1.6 日

建込み簡易土留供用日数計算書

(砂、砂質土、粘性土、礫質土共通)

(取付管)

1、設計条件

(機材深さ H= 2.11 m最大掘削深)

1) 土工

① 掘削深 = 2.10 m(平均掘削深) ② 掘削幅 = 0.90 m ③ 施工延長 = 3.10 m

④ 掘削使用機械= バックホウ0.2m3

⑤ 予掘深 = 1.00 m

2) 管布設工

① VU管 150 mm ② 管外径 0.165 m

3) 基礎工

① 砂基礎工 (基礎管下厚= 0.10 m、基礎管上厚= 0.10 m)

$$\begin{aligned} \text{基礎工数量} &= 0.90 \times (0.10 + 0.10 + 0.165) - 0.165^2 \times 1/4 \times \pi \\ &= 0.307 \text{ m}^3/\text{m} \end{aligned}$$

上記条件より30.0m当たり供用日数を算出する。

2、施工時間

1) 掘削時間(D1)

○ バックホウ0.2m3 の1.0日当たり掘削作業量 = 43.0 m3 (歩掛P5)

○ 掘削量 = (2.10 - 1) × 0.90 × 30.00 = 29.8 m3

◎ 掘削工施工日数(D1) = 29.8 ÷ 43.0 = 0.69 日

2) 建込み簡易土留建込み時間(D2)

注: 建込み簡易土留建込み時間の施工源単位は『世話役』を用いる。(採用掘削深さ歩掛 2.11 m以下)

○ 10.0m当たり世話役労力(掘削深さ 2.11 m以下) = 0.25 人 (歩掛P18の歩掛表参照)

◎ 建込み工施工日数(D2) = (0.25 ÷ 10) × 30 = 0.75 日

3) 基礎工(D3)

注: 基礎工施工日数の施工源単位は『タンパ』を用いるものとし、歩掛P7よりタンパ1.0日当たり施工量=36m3/日とする。

○ 基礎工施工日数 = 0.307 × 30 = 9.2 m3

◎ 基礎工施工日数(D3) = 9.2 ÷ 36 = 0.26 日 (歩掛P7機械運転単価表参照)

4) 管布設工(D4) (呼び径 150 mm)

注: 管布設工施工日数の施工源単位は『世話役』を用いる。(採用管布設歩掛 0.021 人/m)

◎ 管布設工施工歩掛(D4) = 0.021 × 30 = 0.63 日 (歩掛P27管布設歩掛表参照)

5) 引抜き埋戻し工(D5)

注: 引抜き埋戻し工施工日数の施工源単位は『タンパ』を用いるものとし、歩掛P7よりタンパ1.0日当たり施工量=36m3/日とする。

$$\begin{aligned} \text{埋戻し土量} &= (2.10 - 1 - (0.10 + 0.10 + 0.165)) \times 0.90 \times 30 \text{ m} \\ &= 20.0 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

◎ 引抜き埋戻し工施工日数(D5) = 20.0 ÷ 36 = 0.56 日

3、施工日数

○ 30.0m当たり施工日数(D1+D2) * 3/5 + D3 + D4 * 3/5 + D5

$$= (0.69 + 0.75) \times 3/5 + 0.26 + 0.63 \times 3/5 + 0.56$$

$$= 2.1 \text{ 日}$$

◎ 施工延長当たり供用日数 (施工延長L= 3.10 m)

$$\text{計上日数} = 2.1 \div 30 \times 3.10 \times 1.3 = 0.3 \text{ 日}$$